

平成29年度前期 学群(学部)教育改善計画

学群(学部)名	看護学群(学部)
学群(学部)長名	吉田俊子

1ー(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群(学部)で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。 ※なお、昨年度から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。		
①	課題	講義や演習全体として、ポイントの提示や難易度、到達度設定はおおむね良好な回答を得ていると思うが、過当たりの学習時間が1時間未満、全くしなかったと回答している科目も多い。一方で、3年生の科目では前期に課題が重なっており、つらいという意見があった。また覚えることが多いというコメントがあるが、覚えるのではなく、理解をしていくことが必要である。
	理由	自己学習がすすむような取り組みが必要である。また覚えるだけではなく理解がすすむように講義の工夫と科目での調整や連携をはかっていくことが必要と考える。
②	課題	(継続)GWや演習の指導内容が教員によって相違があったり、時間の確保が不十分であること、パワーポイントや資料の工夫をしてほしいという学生の意見がみられた。GWや演習の目的、進め方を学生が理解してすすめていけるように、時間確保や進め方への工夫が必要である。資料や講義は特に事例など具体例を示して抽象化していくと理解がすすむとの意見が散見された。
	理由	GWや演習の提示の仕方、資料の工夫、教育資料と教科書、レジメなどの関連性を明示してどこに学びのポイントがあるか示していくなどの工夫が求められる。
③	課題	(継続) 授業評価の回答率は前回より向上したが、まだ学群全体で48-8%であり、半数に満たない。
	理由	学群で講義の時間をとって行ったが、演習などの時間での制約やうまくアクセスできなかったなどの状況も発生した。向上しており、ここからはシステムの問題などもあると思うが、授業改善につなげるためにも回答率をあげていくことが必要である。
1ー(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。		
①	現在、カリキュラムWGにて看護学モデルコアカリキュラムとの本学カリキュラムの整合性をチェックする調査に取り組んでいるところであるが、その結果を踏まえ、学修の積み上げの状況と科目間の連携について、教務WG、専門科目担当者会議、教授会(教員会議)の場での確認を行う(平成30年調査終了後～前期)。専門基礎科目、専門科目間で講義や演習の課題の目標、方法、具体的内容、期限などの相互に情報を確認し、カリキュラムマップにそって展開しているか、学生に過重な負担あるいは自己学習課題の提示が不十分になっていないか、教務WG、連携専門科目担当者会議で確認を行う(平成29年度後期・30年前期まで)	
②	改善意見に対して、学生の意見を考慮して内容の検討を行うように教授会(教員会議)にて再度周知する。専門基礎科目、専門科目、専門科目間との連携を図っていくために、相互の講義の聴講も含め、資料の閲覧や講義の展開について情報交換を行う。まずは、同学年の前期、後期に開催する隣接領域にて課題の状況について確認し、学生の理解が進むように配置の調整を行う(平成30年度前期まで)	
③	時間の確保により、一定の回答率向上が認められたが、システムにうまく入れない学生が散見された。全学でシステムも含め対応を検討していくことが必要である。	

2ー(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。	
ロールプレイや紙上事例の工夫を行った。映像や実際の機器を演習に導入し、また4年生をTAとして参加させることでより学生が実習への現実感をもって取り組むことができるように工夫を行った。	
2ー(2). 上記の事例を学群(学部)の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。	
昨年度に引き続き、専門科目担当者会議、教授会(教員会議)や看護学群のFD開催を通して、学群の教員間で共有をはかっていく。	